

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
 取り付けに関しましては、メーカー発行のサービスマニュアル及び当説明書の指示に従って作業を行って下さい。作業は必ずエンジンが冷えた状態で、且つ車体が安定した状態で行って下さい。  
 このマフラーは、CB400SF/SB 08-(EBL-NC42)用となっております。その他の機種(車両型式・年式)には取り付けられません(車検を受けられません)のでご注意下さい。取り付け作業に関して、ご不明な点などございましたら、当社までお問い合わせ下さい。(注意:純正オプションのセンタースタンドとの併用はできません。)

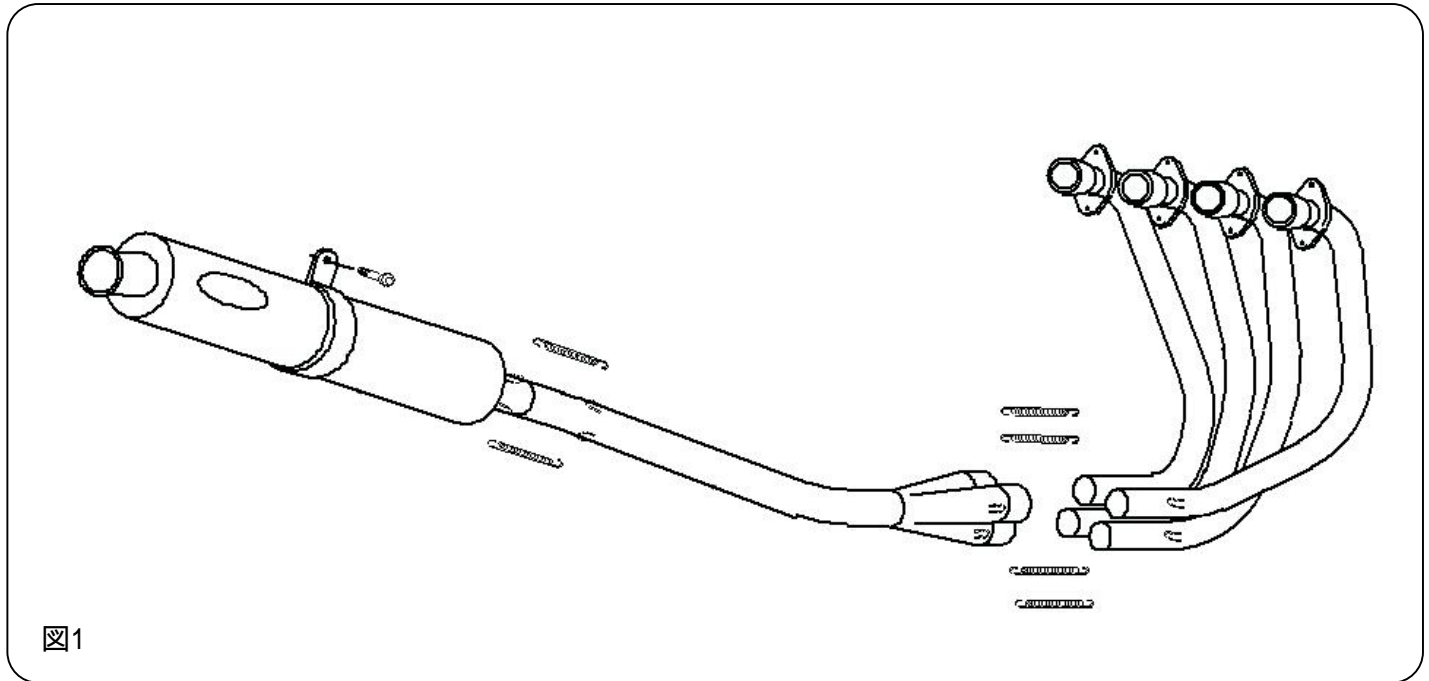


図1

**純正マフラーの取り外し**

純正マフラーを取り外します。(マフラー・その他純正パーツの脱着方法に関しましてはメーカー発行のサービスマニュアルの指示に従ってください。)

マフラー取り外しの際の純正ボルト・ナット類は一部を除きマフラーを取り付けの際に再使用しますので無くさない様ご注意下さい。

**マフラーの取り付け**

**1)エキゾーストパイプの取り付け**

エンジンにエキゾーストパイプを取り付けます。ガスケットは新品をご使用下さい。パイプの位置関係に注意してエンジンに取り付けます(図1参照)。この時、フランジ部のナットは仮止めの状態(取り付けたパイプが軽く動く程度)にしておいて下さい。( ~ の識別シールはマフラー装着後は剥し難いため、番号確認後、組付け前に剥すことをお勧めします。次に取り付けるテールパイプも同様に行ってください。)

**2)テールパイプの取り付け**

エキゾーストパイプを集合(テールパイプ)に差し込みます。入りにくい場合はプラスチックハンマーなどでエキゾーストパイプを前方向からキズを付けないように注意して軽く叩いて下さい。マフラー全体をゆるする事で入りやすくなる場合があります。4本とも均等に差し込まれたら、最後に各フックにスプリングを掛けます。

**パーツリスト(梱包内容)**

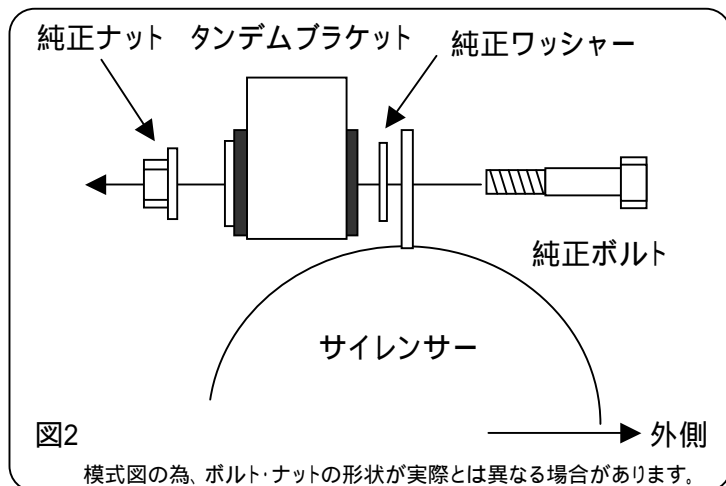
図番	パーツ名	数量
	エキゾーストパイプ #1	1
	エキゾーストパイプ #2	1
	エキゾーストパイプ #3	1
	エキゾーストパイプ #4	1
	テールパイプ	1
	サイレンサー	1
-	スプリング	6

各差込み部には排気漏れ防止の為、シリコンボンド等を用いる事をお勧めします。

### 3) サイレンサーの取り付け

テールパイプにサイレンサーを差し込み、スプリングを掛けて、サイレンサーバンド/純正ボルト/ワッシャー/ナットで純正マフラーと同じ位置に仮止めて下さい。(図2参照)

各差込み部には排気漏れ防止の為、シリコンボンド等を用いる事をお勧めします。



### 5) 本締め

車体各部(特にリアショック、ブレーキペダル等)との干渉がない事を確認し、必要があれば調整を行いながら仮止めたフランジ部のナットを本締めします。この際、フランジ部が傾いたりしないよう、左右のナットは均等に締め込んで下さい。締め込み具合により集合部やパイプの位置が動いてエンジンや車体とのクリアランスが変化する場合がありますので、注意しながら作業を行って下さい。また、締め過ぎはスタッドボルトの破損を招く場合がありますのでご注意下さい。次にサイレンサーのボルト、ナットを本締めしてください。

#### 最終確認

以上で作業は終了です。マフラーに付着した汚れをよく拭き取った上でエンジンを始動し、排気漏れ等がない事を確認し、必要があれば修正を行って下さい。(サイレンサーのエンブレム部にビニールシートが張り付けてある場合は事前に剥がして下さい。)

注)エキパイに手の脂等が残ったまま熱が加わると、焼けムラの原因になります。十分脱脂を行って下さい。

#### セッティングについて

このマフラーはすべてスタンダードの状態です。性能を発揮するように設計されておりますので、基本的にセッティングは不要です。(よりきめ細かくセッティングを行う事でより良い結果を得られる場合はございます)

グラスウール(消音材)は消耗品です。グラスウールが消耗した状態での走行はマフラー及び車両の故障に繋がる場合があります。音量の増加等、グラスウール消耗の症状が表れた際は、サイレンサーのオーバーホールサービス(有償)をご利用ください。

雨水や燃焼時に発生する水分などがサイレンサー内に溜まるとグラスウールの消耗(劣化)の原因となります。高回転域を使用する事で蒸発 排出されますので、定期的に適度に回して乗る事をお勧めします。(スピード違反を推奨するものではありません。安全に法令遵守の範囲でお願いします。)

走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷にお気を付け下さい。

シンナー等の強力な有機溶剤は本製品には使用しないで下さい。

本製品はJMCAの認定を受け、排気ガス検査成績書を付属しております。車検時に必要となる大切な書類ですので無くさないように注意して管理してください。

転倒等に伴う修理に関しましては、状態によりお受けできる場合と出来ない場合がございます。電話・メール等にてお問合せ下さい。その他ご不明な点ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

NOJIMA ENGINEERING

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町7265-7 TEL:059-378-3505 FAX:059-370-7811

WEB: <http://www.nojima-japan.co.jp> MAIL: [info@nojima-japan.co.jp](mailto:info@nojima-japan.co.jp)

080818

NMB015